

生活



英國人女性死体遺棄事件で、死体遺棄容疑で逮捕された市橋達也容疑者(30)は2年7ヶ月にわたり、整形手術で顔を変えて逃亡を続けていた。逮捕につながる有力情報の一つが整形後の顔写真だった。しかし、保険を使わない自由診療なら偽名で受診できてしまう医療の現状に美容整形の現場関係者は頭を抱えている。(草下健夫)

本人確認なく手術

「美容外科医は、患者がコントラックスを解消して、人生を前向きに生きられるよう」と考えている」

日本美容医療協会の原口和久事務局長は「うした目的から外れ、美容整形が逃走に利用された」とシヨックを受けた。自由診療では保険証の提示が不要のため、偽名でも受診できてしまう。自由診療の背景には、他人に気づかれずに整形したいという患者の思いもある。

「問診票に記入された名前や住所を『本当か』とは聞いていない。保険診療やクレジット払いなら確認できるが、そうでない限り、医師は性善説に立つしかない」と原口事務局長。飲食店従業員の女性が、店の源氏名で受診するケースもあるという。

厚生労働省医政局は「自由診療でも医療機関が名前や住所などを記録するが、(公的書類などでの)本人確認は求めたくないケースもある。偽名を使っていいとは言わぬが、本人確認まで課されていない」と話す。現在は特に対策は考えていないという。

一方、神戸大学医学部附属病院美容外科(神戸市中央区)は今回のような事態を想

整形前の市橋達也容疑者(右)と、千葉県警が公開した整形後の写真

市橋容疑者が手術受け逃走—美容整形現場の苦悩



「性善説に立つしかない」

の安全管理にかかる問題で、あり、議論しておく必要がある

るのでは」と指摘する。

手配写真配布の動き

手術を受けにきた人が指名手配者だった場合、見抜けないのか。

原口事務局長は「(今回の事件に絡み、警察厅がわれわれの認識から風化していたのが正直なところ。千葉県で起きたと)いう地域性もある」と明かす。「警察側からきちんととした依頼があれば、もっと早く解決したかも知れない」と、警察の対応の遅れを指摘。一瀬科長も「多忙でテレビを見たりする余裕がない医師が多く、逃走犯が治療に来ても、分からなくなる」ともありうる」と吐露する。

美容整形受診の注意点

美容整形をめぐるトラブルも多い。受診する際の注意点として、日本美容医療協会の原口和久事務局長は①研修を受けた専門医か(広告が出てるから有名とばかりではない)②医師がデメリットもきちんと説明するか③説明する医師と手術する医師が同じ一人の点を挙げる。一方、患者側も医師の説明を理解するまでよく聞き、手術後の過ごし方などの指示を守ることが大切という。同協会では美容整形に関する相談を電話(03-32339-9710、木曜午後7時半~8時半)で受け付けている。



送検のため、千葉県警行徳署を出る市橋容疑者
=12日、千葉県市川市(矢島康弘撮影)